

広島平和教育研修

富士見中学校2年生 5名



2年生5名（引率教諭1名）が「広島平和教育研修」を実施しました。この研修で平和祈念式典への参列、平和祈念資料館見学のほか、被爆者の方から体験談を伺うなど、戦争や平和について理解を深めました。

参加者5名が、この研修を通して感じたこと、心に深く刻んだことを紹介します。

私はこの広島研修を通して、こんなことが二度とあってはならないと強く思いました。特にそう思つたのは、「被爆者のつどい」でお話を聞かせていただいた、高安正明さんの言葉です。高安さんのお話を通して、今では全然考えられない生々しい状況を聞くことができました。たくさんの資料や写真より、人の言葉の方がとても胸に響いてきました。そういう方の言葉を世の中に伝えられるのは実際に話を聞いた私たちです。

今年は終戦から七十年という節目の年です。広島に行って聞いたこと、見たこと、感じたことを広く伝えることが私の義務だと思います。

今までの七十年のように、この先の七十年もまた、戦争のない平和な日本と、日本はもちろん、地球のどこにも原爆が落ちることのない世の中を、これからを生きるです。私たちの手で作り上げていきたい

8月5日から7日まで、富士見中学2年生5名（引率教諭1名）が「広島平和教育研修」を実施しました。この研修で平和祈念式典への参列、平和祈念資料館見学のほか、被爆者の方から体験談を伺うなど、戦争や平和について理解を深めました。

参加者5名が、この研修を通して感じたこと、心に深く刻んだことを紹介します。



広島研修を終えて
富士見中学校2年
梨紗子



僕にとっての平和
富士見中学校2年
眞生



広島研修を
振り返って
富士見中学校2年
輝

僕にとっての平和は、「この地球にいる人が、普通の暮らしができる」ことです。しかし七十年前の八月六日、一発の原子爆弾で平和は失われました。広島の街は一瞬にして焼け野原と化しました。市民も大勢犠牲になり、奇跡的に生き残った方も後遺症に苦しみ亡くなっていました。七年経つた今に生きている僕たちがしなければならないことは、何でしょう。僕は広島研修を通じて、十年経つた今に生きている僕たちがしなければならないことは、何でしょうか。僕は広島研修を通じて、戦争や原爆がどんなに恐ろしいのかを学びました。唯一の被爆国に生まれた僕たちは、戦争の悲惨さ、原爆の恐ろしさを多くの人たちに伝え、戦争や原爆で亡くなられた方々の為にも同じ過ちを二度と繰り返してはいけないと思いました。

戦争や原爆がこの世から無くなれば、世界中の人々が普通の暮らしができる。そんな平和な世の中になればいいと強く思いました。

僕達は、八月五日から七日まで、広島研修を行ってきました。事前に二学年の皆さんに千羽鶴を折つたり、四回の事前学習をし、準備をしっかりと行きました。今年は原爆投下、戦後七十年を迎え、日本にとって特別な年になります。その事もあり、平和祈念式典には溢れる程の人が参列していました。参列者の中には外国人も沢山おり、平和を願う人は世界中にあるのだと感じました。

そして、僕が研修で印象に残つた事は、実際に被爆された方の証言で、原爆の被害は身体に及ぼす被害だけではなく、差別、いじめによる精神的な被害もあったという事です。なので、身近な人を大切にする気持ち、昔に敵国だったからと言って憎しみ合わない事も、平和への一步に繋がるのだと感じました。



今年僕は毎年行われている広島研修に行かせてもらえる事になつて、たくさんのことを見た。見てきたものの中で一番心に残ったのは爆心地から最も近い学校、本川小学校のことでした。話では聞いていたけど、僕の想像より遙かに悲惨でした。熱風で学校の地下にいた人までも亡くなり、そこにあつたものは形がわからぬくらいに壊れ、原爆の怖さを改めて実感しました。そして聞いたことでは戦時中の大変さがよくわかりました。母親は子供を手で育てなくてはいけない、だからとても大変で、もし自分がその立場だつたら絶対できないと思いました。

僕はこの研修の三日間で自分の知らなかつた戦争のこと、悲惨さ、原爆の恐ろしさなどを、実際に被爆した場に行つて、感じ、聞くことができました。この体験を活かし、大切にしていきたいです。



僕が見た広島

富士見中学校2年
岩崎元気

私が広島研修へ行つて一番印象に残つたのは資料館です。

資料館では、原爆の被害にあつた方の模型や、写真を見ました。事前学習で学習したものとは比べものにならないほど悲惨なものでした。しかし、そのようなものをしつかりと見つめ、もう二度と戦争が起らないよう自分から行動することが必要だと思います。

今年は戦後七十年を迎え、戦争

を体験した方の平均年齢は八十歳をこえました。それにより、戦争について伝える方が年々少なくなっています。なので、代わりに私が広島研修へ行つて学んできたことを多くの人へ伝え、少しでも戦争に関心を持つてもらい、原爆や戦争について知つてほしいと思います。そして、七十年間戦争がなづかたように、これからも戦争が起らないようになってほしいです。



未来へつなぐ思い

富士見中学校2年
小池み朝



▲恒久平和を祈願しました



▲2年生みんなの思いを込めて



▲平和への願いを



▲貴重なお話を伺いました



▲研修報告会の様子

第51回富士見町戦没者追悼式

9月11日(金) 第51回富士見町戦没者追悼式が行われ、戦争の犠牲となった方々のご冥福を祈るとともに、平和への誓いを新たにしました。



その中で、広島平和教育研修へ参加した5名を代表し、雨宮真生さん、樋口梨紗子さんが、研修を通して感じた平和への思いを発表してくれました。これからも、いろいろな場所で、今回の貴重な体験を伝えていってほしいと思います。